

10月6日(日) 13:30～

社会保障の解体を 許すな！愛媛県民集会

愛媛大学(城未定)
グリーンホール



社会保障制度改革国民会議は、消費税増税と一体で社会保障制度を解体する「最終報告書」をとりまとめ、安倍首相に提出しました。

「報告書」は、医療・介護、年金、保育の全分野、特に、医療・介護を中心にして新たな負担増と給付削減を鮮明に、国民に一方的なガマンを強いる内容であり、決して容認できるものではありません。

愛媛県社保協は、その撤回と、総改悪の大元となっている「社会保障制度改革推進法」の廃止を求め、改悪の具体化を許さない国民的な共同の運動を大きく広げる決意です。

「推進法」は、「自助」を社会保障の基本として、「自己責任」の原則を打ち出し、社会保障への国の責任を後退させ、国と地方の社会保障費を抑え込み、国民負担増と給付の削減で権利としての社会保障制度を解体するものです。「報告書」は、「我が国の社会保障制度は...『自助の共同化』としての社会保険制度が基本」としており、生存権を規定する憲法25条にも反し、断じて許すことはできません。



講演『「社会保障と税の一体改革」で国民生活はどうか？

(案) 憲法が生きる日本社会の展望は？』

講師: 相野谷保孝さん(中央社保協 前事務局長)

リレートーク 保険医協会・ケアマネ・介護保険利用者・年金者組合・
民商・生健会・新婦人・保育園・ソーシャルワーカーなど予定

主催: 愛媛県社会保障推進協議会
(愛媛県保険医協会、年金者組合愛媛県本部、愛媛医療生協、自治労連愛媛県本部、愛媛労連、愛媛民医連、愛媛県医労連、新婦人愛媛県本部、愛媛県教組、えひめ生協労組、建交労愛媛県本部、ひかり協会労組、愛媛県商連、愛媛県生活と健康を守る会、松山生活と健康を守る会、内子町社保協)